

2025 年(1月1日～12月31日)活動報告

動物実験計画書の年間の承認件数

	新規	変更	軽微変更	計	計画数 ^{※1}
医学部	57	7	32	96	177
医学部附属病院	5	3	2	10	32
アクア・リジェネレーション機構	1	0	0	1	1
バイオメディカル研究所	9	1	4	14	41
農学部	18	0	6	24	87
繊維学部	23	0	25	48	76
理学部	4	0	2	6	11
教育学部	0	0	0	0	1
基盤研究支援センター	11	0	12	23	35
計	128	11	83	222	460

※1: 2025年より前に承認された計画も含み、2025年中に有効な承認期間が存在する実験計画の総数

施設の情報(機関の長によって承認された飼養保管施設および動物実験室)

飼養保管施設

	新規	廃止	総設置件数
農学部	0	1	15
繊維学部	0	0	2
教育学部	0	0	1
基盤研究支援センター動物実験支援部	0	0	39
計	0	1	57

動物実験室

	新規	廃止	総設置件数
理学部	0	1	0
医学部	2	1	32
農学部	0	0	18
大学院農学系研究科	0	0	1
繊維学部	0	0	11
基盤研究支援センター動物実験支援部	0	0	28
基盤研究支援センター遺伝子実験支援	0	0	3
基盤研究支援センター機器分析支援部	0	0	1
バイオメディカル研究所	0	0	2
計	2	2	96

動物実験計画審査所要日数

最長所要日数	142 日
最短所要日数	1 日
平均所要日数	24 日

※研究支援課で受付した日～承認された日までの間

小委員会開催回数

医学系動物実験小委員会	65 回	(内訳:新規・変更 23回、軽微変更 42回)
農学系動物実験小委員会	18 回	(内訳:新規・変更 12回、軽微変更 6回)

教育訓練の実績(実施月日、実施内容の概略、参加者数)

- 実施内容の概略:**
- 1) 動物実験等に関する法令等、本学規程について(各種手続きほか)
 - 2) 動物実験等の方法に関することについて(計画における留意点ほか)
 - 3) 実験動物の飼養保管に関することについて(動物福祉の確保等留意点ほか)
 - 4) 安全確保、安全管理に関することについて(遺伝子組換え実験ほか)
 - 5) 人獣共通感染症に関することについて
 - 6) その他必要事項(施設利用の方法ほか)

松本キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(初回講習会)	14	91	1/28, 1/29, 2/18, 4/25, 5/1, 5/7, 5/13, 6/19-20 (医学科4年生自主研究演習対象), 7/30, 8/1, 10/6, 10/27, 10/28, 11/20
教育訓練(再講習)	7	103	2/20, 3/24, 4/11, 6/10, 9/18, 10/27, 11/19
SPF区域講習会	4	15	3/31, 4/8, 5/12, 10/14
感染区域講習会	1	1	10/21

伊那キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(初回講習会)	3	54	4/10 4/11 4/25
教育訓練(再講習)	4	34	2/20 4/11 6/10 9/18

上田キャンパス

	回数	年間合計参加人数 (学部学生を含む)	実施月日
教育訓練(初回講習会)	6	26	1/28, 4/25, 5/1, 7/30, 10/27, 10/28
教育訓練(再講習)	2	7	4/11, 6/10

基盤研究支援センター動物実験支援部門 施設利用状況

集計年： 2025 年（1月1日～12月31日）

年間延べ入館者数： 17,700 人
 利用登録者数： 521 人
 施設見学者数(合計)： 83 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	2,169
ラット	713
モルモット	11
ウサギ	4
ブタ	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	8,401
ラット	344
モルモット	0
ウサギ	0
ブタ	0

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	35,861
ラット	1,007
モルモット	11
ウサギ	4
ブタ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	24	61	200	285
割合(%)	0	8	21	70	100

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

定期検疫検査

SPF区域 4 回
 普通区域 4 回
 検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

SPF区域 1 系統
 普通区域 3 系統
 検疫結果はいずれも陰性

胚操作業務

体外受精・胚移植
 (クリーニング) 1 件
 体外受精・胚移植
 (系統維持) 2 件
 胚凍結/融解 6/4 件
 遺伝子改組動物作製
 (CRISPR/cas9) 2 件
 精巢上体尾部採取 0 件
 精子凍結 0/1 件

農学部 飼養保管施設利用状況

集計年： 2025 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	21 人
大学院生	62 人
学部学生	109 人
その他	10 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	1,168
ニワトリ	96
ヒツジ	0
ウシ	0
ヤギ	1
クジャク	0
クジャク・ニワトリキメラ	0

動物飼養数

動物種	数
マウス	1,084
ニワトリ	81
ヒツジ	31
ウシ	61
ヤギ	11
クジャク	2
クジャク・ニワトリキメラ	1

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	3,905
ニワトリ	83
ヒツジ	0
ウシ	0
ヤギ	0
クジャク	0
クジャク・ニワトリキメラ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	40	26	20	86
割合(%)	0	47	30	23	100

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。

定期検疫検査

1 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

0 系統

繊維学部 実験実施状況

集計年： 2025 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員 4 人
 大学院生 13 人
 学部学生 38 人
 その他 0 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
マウス	332
ラット	34
緬羊	0
ハムスター	4

動物飼養数

動物種	数
マウス	968
ラット	178
緬羊	26
ハムスター	4

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
マウス	3,548
ラット	138
緬羊	0
ハムスター	4

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の категорияに関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	22	40	14	76
割合(%)	0	29	53	18	100

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物, 細菌, 原虫, 又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど, あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に, 耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えると思われる実験)は承認されない。

定期検疫検査

2 回

検疫結果はいずれも陰性

新規導入動物の検疫数

3 系統

検疫結果はいずれも陰性

教育学部 実験実施状況

集計年： 2025 年（1月1日～12月31日）

動物実験者数

教員	1 人
大学院生	0 人
学部学生	0 人
その他	0 人

動物数

実験動物購入(導入)数

動物種	数
ヤギ	0

動物飼養数

動物種	数
ヤギ	2

※特定日の飼養数あるいは一日当たりの平均飼養数

実験で犠牲となった動物数

動物種	数
ヤギ	0

※年間合計

実施中の実験計画書における苦痛の 카테고리に関する集計

	カテゴリーA	カテゴリーB	カテゴリーC	カテゴリーD	計
件数	0	1	0	0	1
割合(%)	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

※カテゴリーA = 生物個体(動物の生体)を用いない実験あるいは植物、細菌、原虫、又は無脊椎動物を用いた実験

※カテゴリーB = 動物に対してほとんど、あるいはまったく不快感を与えないと思われる実験操作

※カテゴリーC = 動物に対して軽微のストレス又は痛み(短時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーD = 回避できない重度のストレス又は痛み(長時間持続する痛み)を伴うと思われる実験

※カテゴリーE (無麻酔下の動物に、耐える限界に近い又はそれ以上の痛みを与えられる実験)は承認されない。